

令和元年度 学校関係評価報告書

□基本方針

企業委員、卒業生委員、地域住民委員により、自己評価結果の項目について評価を行う。次年度に向けた重点目標を設定し、全職員にて共通の認識をもち、副校長を中心に改善策を検討し、年度ごと改善に向け取り組んでいく。

□実施について

令和元年度の学校評価委員会を開催し、直近の自己評価報告をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

実施日 令和元年7月8日(月) 302教室
実施場所 山本学園情報文化専門学校 専門課程 401教室
参加者 企業委員2名
卒業生委員1名
地域住民委員1名
学内委員1名 渡邊基矢(司会進行)

□評価について

項目	評価、評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none">・学校理念・目標については概ね適切に定められている。・Webサイトを通じて公開を行ってはどうか。・時代に合わせた、教育理念・目標を検討してはどうか。
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none">・概ね健全な運営である。・行事だけでなく、新しい授業の取り組みをWebサイトにて公開してはどうか。・活動についてはWebサイトの「WHAT'S NEW」でも知ることができている。・学校祭などもあり、情報公開も適切に行なわれているのではないか。
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none">・しっかりとしたカリキュラムが概ね実施されている。・先端技術を学ぶための、課外授業を取り入れてはどうか。教員のスキル研修にもつながるのではないか。・就職先企業の外部者の授業参加を行ってはどうか。・教員が研修の時間が取れないということであれば、他分野の授業を行うなどし、OJT形式で研修を行ってはどうか。・企業採用担当者に採用する人材のヒアリングを行ってはどうか。

(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね問題ない。 ・就職率はよいので、さらに継続できるように取り組んでほしい。 ・経済的な支援を検討する前に、自立も促す必要はないか検討してはどうか。 ・現状でも行っているが、社会で活躍する卒業生を呼んで学生に話をする機会を増やす検討をしてはどうか。 ・同窓会は活用できないか。
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路支援は概ねできている ・卒業生として話をしにいった際、挨拶時にマスクをはずすなど、ビジネスマナーは学べていると感じた。 ・生活環境改善に取り組もうとする姿勢は感じるが、学校だけでなく、社会全体の問題でもあり、学校ができることは限られていないか。学校ができる学生支援とは何かから検討してはどうか。 ・パソコンについては、最新の環境を取り入れられていると感じた。
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・研修施設が不足しているのであれば、施設の洗い出しから初めてはどうか。ただし、有料なものは本人の費用負担が発生するので別の問題も考えられる。 ・教育環境を向上させるために、やみくもに学費があがり、学生数に影響がでるとしたら本末転倒であるので、現状ベースでもよいのではないか。
(7) 学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね適切に行われている。 ・予算を使つての募集告知を行う検討をしてはどうか。
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね健全な財務状況であるとは推測できる。 ・財務状況のさらなる公開を行つてはどうか。
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね法令遵守はできているのではないか。 ・法令に関する研修をおこなつてはどうか。
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学業との両立を前提としてボランティア活動の具体例を学生に提示してはどうか。 ・CG作品作りなどを活かした、町おこしなどのボランティアを検討してはどうか。 ・卒業生が仕事を通じて、どのような社会貢献を行っているかなど、知れるだけでも参考になるのではないか。
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的にも難しい事項であるため、行うのであれば、しっかりとした体制準備の検討が必要ではないか。 ・留学生を積極的に受け入れられない現状は理解できる。現在いる学生をまずは大切に考える考え方もわるくないのではないか。

□総評

- ・概ね適切に運営は行われているが、改善すべき項目もある。改善に関する優先度を決めて対応に取り組んではどうか。
- ・学校運営が適正になればなるほど、自然と人が集まり、社会からの必要性が高まってくると感じる。現状でも適切であると言えるが、さらなる向上を目指してほしい。
- ・業務としての対応は限界がある。自己評価がよくないと感じていても、外部から見た場合よいと感じることもある。自己評価を行う上で、改善に取り組むべき項目をしっかりと検討してはどうか。
- ・新たな運営方法や新規設備のために費用がかかるが、単に学費が上がってしまうようなものではよくない。現状にて行っている対応に磨きをかけることも大切であると思うので、現状維持を貫く考え方をもっともってもよいのではないか。
- ・現状の学生を大切にす土台はあるので、それをさらに良くするように運営されてはどうでしょうか。退学率の低下や、就職率の向上につながると思います。